

令和3年度諸会議開催・出席報告

I. 開催会議

定時総会	1回
幹事会	1回
監査会	1回
懇談会	3回
例会	7回
総務委員会	9回
総務委員会正副委員長会議	9回
委員会・特別委員会	<u>20回</u>
小計	51回

II. 視察会・研修会 3回

III. その他出席諸会議等（協賛・後援含む） 26回

合計 80回

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 鳥取県成長戦略検討委員会 委員長 野津 健市

2 活動方向と成果

当委員会では、鳥取県と協調して同県の成長に向けた戦略を検討することを活動方針としている。

新型コロナウイルス感染症により、産業構造や人々の考え方・価値観が大きく変容することが迫られる中、今後の社会経済の成長の在り方を模索した。

残念ながら令和3年度中は、新型コロナウイルスの感染拡大は収束せず、鳥取県西部総合事務所との意見交換会を開催し、貴重な意見交換を実施することができたが、懇親会は開催できなかった。

また、例会についても、オミクロン株の急拡大により、令和4年1月に総務委員会と合同で平井鳥取県知事を招いて講演頂く予定だったが、残念ながら令和4年4月に延期となった。

3 今後の課題

新型コロナウイルスのパンデミックにより、東京をはじめとする大都市集中型の社会構造の脆弱性が顕在化し、過度の集中への疑問が呈されているが、地方への分散等具体的な議論には至っていない。このまま新型コロナウイルスが収束を迎えれば、元通りとなってしまう懸念もある。

新型コロナウイルスのパンデミックが、東京一極集中、地方の衰退を見直す機会となったことは間違いがないので、この機会を捉え、鳥取県と連携し、ポストコロナ時代の地方都市の在り方、東京を始めとする大都市との関係、関係人口の拡大の方策等、具体的な検討を行っていきたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年8月5日（木）12：00～13：30

場 所：和のごはん まちぞら（JU米子高島屋内）

内 容：①鳥取県西部総合事務所との意見交換会、②今年度事業

参加者：会員5名

（2）例会等

■ 鳥取県西部総合事務所との意見交換会

日 時：令和3年10月8日（金）10：00～11：00

場 所：鳥取県西部総合事務所

内 容：意見交換

参加者：会員9名、吉村 文宏 氏（鳥取県西部総合事務所長）他7名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 国際経済委員会 委員長 松浦 啓介

2 活動方向と成果

本間氏の講演では、アメリカにおけるスタートアップ企業としての事業内容や取り組み経緯について理解を深め、海外進出に対するチャレンジ意識の高揚を図ることができた。田代氏の講演では、世界の中における日本の現状や国際的な課題である SDGs に対する具体的な取り組みを報告頂き、今後の戦略として各企業で活かしていく重要性を学ぶことができた。また、例会を東部・中部地区とオンラインで繋ぐことによって、各地区との連携や情報共有を図ることができた。

3 今後の課題

アフターコロナを見据え、海外展開を検討するための幅広い情報や詳細な情報を更に提供していく。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年9月10日（金）11：45～13：00

場 所：和食 garden 琥珀月

内 容：①例会、②その他

参加者：会員6名

（2）例会等

■ 例会

日 時：令和3年10月25日（月）15：00～16：30

場 所：【リアル】ANA クラウンプラザホテル米子

【オンライン】Zoom

内 容：①講演会

演 題：「シリコンバレーで未来のライフスタイルを創造する
～グローバルなスタートアップの起業ストーリー～」

講 師：HOMMA, Inc. Founder&CEO 本間 毅 氏

②トークセッション

参加者：【リアル】会員他33名、東部地区1名

【オンライン】会員他7名、東部地区13名、中部地区1名

■ 合同例会（共催：SDGs 推進特別委員会）

日 時：令和3年11月26日（月）16：30～20：00

場 所：【講演会】皆生グランドホテル天水

【懇親会】華水亭

内 容：①講演会

演 題：「サステナブルな社会の実現に向けて～みんなのお金で未来をつくる～」

講 師：(公社)経済同友会 副代表幹事／

(株)大和証券グループ 取締役兼執行役副社長 田代 桂子 氏

②懇親会

参加者：【講演会】会員他37名

【懇親会】会員他15名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 教育委員会 委員長 森中 栄

2 活動方向と成果

当委員会では、下記の3テーマに担当副委員長を決め活動を行った。

(1) 高校生との交流会

地元高等学校の生徒と経済団体の交流事業を継続的に実施しており、本年度は(学)米子永島学園米子松蔭高等学校に協力を仰ぎ、2年生190名に対して特別授業「鳥取県経済同友会西部地区による米子松蔭高等学校生への講演会」として開催し、また初の試みで進学志望と就職志望の2会場に分け同時に実施した。

講師には、当会細田副代表幹事が進学志望者へ「人生の岐路に立つ皆さんへ」と題し進路決定の心構えを、森脇常任幹事が「社会人として求められる能力とは」と題し実施した。講演後の質疑応答も活発に行われ、経済団体として、将来を担う学生に有益なアドバイスを送る機会となった。

(2) 教員と経済界との交流

今年度から鳥取県教育委員会の要請で開始した活動で「高校生のふるさとキャリア教育に関する経済界と教員との交流事業」として実施した。教育委員会が掲げる「ふるさとキャリア教育」において「夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来ふるさと鳥取県に貢献する気概を持つ生徒に成長」させるためには、教員が地域を熟知することが必要であり、特に地元の経済状況等を理解する必要があるとの認識で当会との交流を開始した。

「経済界と西部地区高等学校・特別支援学校教員等による交流会」として西部地区高等学校校長会(12高等学校、2特別支援学校)、鳥取県教育委員会事務局と当会員とのワークショップを「若者の人口流出について～今どきの進路指導等の実態と期待～」、「今後の連携について～『してもらいたいこと』と『できること』～」のテーマで実施した。高等学校等の状況や抱えている問題点や企業が高等学校に対する要望等に対して忌憚のない意見交換を実施することができた。また、本交流会を継続実施することを3者で確認した。

(3) 公立鳥取環境大学との連携

地元高等教育機関の一つである公立鳥取環境大学と当会との継続的な活動の実施可能性について、当委員会正副委員長、担当副代表幹事と大学事務局から副理事長、事務局長を招き意見交換会を実施した。

当会として協力できる範囲等について説明し、大学側からは東部地区での経済界との交流状況等の説明を受けた。西部地区を研究テーマとしたゼミ活動等の実施可能性について継続的に検討することとした。

3 今後の課題

(1) 高校生との交流会

次年度も実社会への準備段階にある生徒に対し、地元経済に興味を持ち将来を考察するための交流事業として継続する。講演会にこだわらず、探究等の授業で行った生徒の発表に基づくディスカッションも有意義と思われ、県内高等学校との意見交換を通じ、どのようなテーマで開催できるか検討したい。

(2) 教員と経済界との交流

初めて実施した交流事業であり、高等学校の抱える問題も高校のタイプにより多岐にわたっており、テーマ選定・時間設定・手法等について鳥取県教育委員会事務局と協議を行い、継続活動として定着させたい。

(3) 公立鳥取環境大学との連携

大学での取り組み等について把握することができたので、講演会等の一時的な関係ではなく、学生の参加も可能となり、西部地区との交流活動にも繋がる方向での検討を行い、次年度には当会との具体的連携を実現したい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年7月15日（木）12：00～13：30

場 所：日本料理 雲海（ANA クラウンプラザホテル米子内）

内 容：①高等学校との交流、②教員と経済界との交流、③鳥取環境大学との交流、④その他

参加者：会員5名

■ 第2回正副委員長会議

日 時：令和3年7月29日（木）10：00～11：30

場 所：公立鳥取環境大学 西部サテライトキャンパス

内 容：①教員と経済界との交流、②その他

参加者：会員5名、酒井 信彦 氏（鳥取県教育委員会事務局高等学校課長）他1名

■ 第3回正副委員長会議

日 時：令和3年9月10日（金）10：00～11：30

場 所：公立鳥取環境大学 西部サテライトキャンパス

内 容：①鳥取環境大学との交流、②その他

参加者：会員5名、田中 洋介 氏（公立鳥取環境大学理事兼事務局長）他1名

（2）例会等

■ 経済界と西部地区高等学校・特別支援学校教員等による交流会

日 時：令和3年12月10日（金）18：00～19：30

場 所：米子商工会議所

内 容：①開会挨拶

鳥取県教育委員会事務局高等学校課 課長 酒井 信彦 氏

鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史

②出席者紹介

③意見交換（ワークショップ）

テーマ：「若者の人口流出について～今どきの進路指導等の実態と期待～」

「今後の連携について～『してもらいたいこと』と『できること』～」

④閉会挨拶

鳥取県経済同友会西部地区 副代表幹事 細田 耕治

参加者：会員他13名、西部地区高等学校・特別支援学校教員等14名、教育委員会事務局5名

■ 例会

日 時：令和4年2月25日（金）10：30～12：00

場 所：米子松蔭高等学校 体育館

内 容：①開会挨拶

（学）米子永島学園 米子松蔭高等学校 校長 長崎 成輝 氏

②代表幹事挨拶

テーマ：「社会人入社5年目までに必要なことは、みんな学校で教わった」

話 者：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史

③講演会（進学者対象）

演 題：「人生の岐路に立つ皆さんへ」

講 師：鳥取県経済同友会西部地区 副代表幹事／

（株）細田商店 代表取締役 細田 耕治

講演会（就職者対象）

演 題：「社会人として求められる能力とは」

講 師：鳥取県経済同友会西部地区 常任幹事／

中国電力ネットワーク（株）米子ネットワークセンター 所長 森脇 照夫

参加者：会員他11名、米子松蔭高等学校教員、生徒約190名（進学予定130名、就職予定60名）

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 観光戦略委員会 委員長 秦野 博行

2 活動方向と成果

これまでの活動方向を踏襲し、関西学院大学渥美ゼミとの連携を通じ、山陰におけるインバウンド観光政策について例会にて学生のオンラインによる提言発表を実施した。「山陰地方におけるインバウンド観光復興に向けた提案」と題し、第1部では「認知度UP作戦としてweb上での展開」「魅力度UP戦略としてゲストハウス」について、第2部ではデジタル広告の重要性からリアルで集客の見込めるコンテンツとして「チェアリング」・「グランピング」・「テントサウナ」・「観光資源のメタバース化」等について説明された。その成果として、会員をはじめ多くの会場参加者に提言を伝えることができ、後日マスコミ各社にも取り上げて頂き広く一般市民の方々にも取り組みを知って頂くことができた。

3 今後の課題

アフターコロナを見据え、インバウンド観光を取り巻く情勢が大きく変わろうとしている。

これまでの関西学院大学渥美ゼミとの連携を整理し、地域活性化に資する観光戦略に繋げる必要がある。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会等

■ 関西学院大学渥美ゼミとの意見交換会（オンライン面談）

日時：令和3年6月21日（月）17：00～18：00

場所：オンライン（Zoom）

内容：当地に関する意見交換

参加者：会員6名

■ 関西学院大学渥美ゼミとの意見交換会

日時：令和3年8月25日（水）18：00～18：30

場所：ANAクラウンプラザホテル米子

内容：①当地訪問、②その他

参加者：会員2名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）・ゼミ生3名

■ 正副委員長会議

日時：令和3年10月6日（水）10：00～10：45

場所：オンライン（Zoom）

内容：①経過報告、②その他

参加者：会員5名

■ 関西学院大学渥美ゼミフィールドワーク受入・夕食会

日時：令和3年11月5日（金）～6日（土）

場所：【フィールドワーク】米子市、境港市、大山町、松江市、出雲市、安来市

【夕食会】皆生菊乃家

内容：①フィールドワーク

皆生温泉、水木しげるロード、大山、松江城、出雲大社、足立美術館他

②夕食会

参加者：【フィールドワーク】渥美教授、ゼミ生13名

【夕食会】会員7名、渥美教授、ゼミ生13名

(2) 例会等

■ 例会

日 時：令和4年3月3日（木）16：00～17：30

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：報告会

テーマ：「山陰地方におけるインバウンド観光復興に向けたご提案
～海外の若者と日本人の若者の視点から～」

報告者：関西学院大学国際学部 渥美 裕之ゼミ5期生

参加者：会員他 31名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 鳥取島根合同委員会 委員長 高橋 宏之

2 活動方向と成果

山陰両県の同友会として、引き続き共通に取り組める観光及び関連する交通政策に関して研究を行った。今回は、特に中海・宍道湖とその周辺をエリアとして、県境や自治体単位で分断されている公共交通網に着目。MaaS等先端技術への理解を深めると共に、(一社)山陰インバウンド機構、(一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局等の観光誘致推進者、(有)出雲観光タクシー等のサービス提供事業者等から状況を伺った。

3 今後の課題

今後は、引き続き中海・宍道湖エリアの観光・交通に関する現在の取り組みを調査し、県域を越えて観光客目線での観光施策と交通手段の提供等を検討したい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 第1回鳥取・島根合同委員会

日時：令和3年11月19日（金）12：30～14：00

場所：サンラポーむらくも

内容：①今年度事業（MaaS）、②第28回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会、③その他

参加者：会員5名、島根経済同友会11名

（2）例会等

■ 第48回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会

日時：令和4年3月30日（水）15：30～17：20

場所：ホテル一畑

内容：①講演会

演題：「アフターコロナの観光～DMOの視点から～」

講師：(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井 善朗 氏

②パネルディスカッション

テーマ：「コロナ後の観光について」

パネリスト：(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井 善朗 氏

(一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局 代表理事 矢野 正紀 氏

(大)島根大学法文学部 教授 飯野 公央 氏

(有)出雲観光タクシー 代表取締役 渡部 稔 氏

(株)バイタルリード 代表取締役 森山 昌幸 氏

コーディネーター：(株)日本政策投資銀行 松江事務所長 加藤 隆宏 氏

参加者：会員他17名、東部地区12名、中部地区1名、島根経済同友会43名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 大山圏域活性化特別委員会 委員長 福田 一哉

2 活動方向と成果

今年度は、大山圏域の産業全般に着目し、歯止めの掛からない過疎化が進む地域の、行政・林業・農業を中心とする産業を活性化する現在の課題や、その先にある中山間地の未来について検討することを目的とした。

活動としては、大阪市立大学の太田雅晴名誉教授に「混迷の時代、何を頼りに経営をしていけば良いですか」というテーマでご講演を頂き、その後、江府町長白石祐治氏、(株)オロチ代表取締役相見晴久氏、(株)山陰合同銀行地域振興グループ調査役井上光悦氏と太田教授を交えて、産・官・学・金融でのパネルディスカッションを予定していたが、新型コロナウイルス感染症・オミクロン株のまん延により中止せざるを得なかった。

3 今後の課題

令和3年度は例会を延期したため、4年度の前半に同じ内容に、最近の国際情勢を交えた例会を開催し、その後、引き続き大山圏域全域の地域資源に目を向け、地域の発展に繋がる活動に取り組みたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 第1回正副委員長会議

日 時：令和3年9月10日（金）11：30～13：00
場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）
内 容：①今年度の活動、②その他
参加者：会員5名

■ 第2回正副委員長会議

日 時：令和3年12月8日（水）11：30～13：00
場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）
内 容：①例会、②その他
参加者：会員5名

■ 第3回正副委員長会議

日 時：令和4年1月11日（火）11：30～13：00
場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）
内 容：①例会、②その他
参加者：会員5名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 境港活性化特別委員会 委員長 浦川 英敏

2 活動方向と成果

鳥取県西部地区において、境港は海の玄関口であり今後2年間は境港の水産業、水産加工業の今後の可能性と更なる魅力の発信を実施したい。

今年度は水産加工業の現状視察並びに可能性と魅力について講演を計画したが、コロナの影響で開催ができず、来年度へ持ち越すこととなった。

3 今後の課題

来年度は令和3年度に開催できなかった視察、講演を早期に開催し境港の魅力発信をしていきたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年10月18日（月）11：30～13：00

場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）

内 容：①今年度事業、②その他

参加者：会員4名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 SDGs 推進特別委員会 委員長 成瀬 以久

2 活動方向と成果

当委員会2期目は、各企業でSDGsの活動に具体的に取り組むためのサポート、動機付けという観点で活動を行った。その一つがSDGsカードゲームである。公認ファシリテーターをお招きし、SDGsの考え方を地方創生にも役立てるゲームを行った。ゲームとは言え、参加者同士の対話、協働、情報の共有や人材の重要性を大いに体感し、共通の目的を達成するために、具体的にどう動くかのヒントを得て頂けたと思う。次に、国際経済委員会と共催で、大和証券グループの田代副社長をお招きし、「サステナブルな社会の実現に向けて」という演題でご講演頂いた。経営戦略としてのSDGsや海外から見た日本の現状のお話は、長い海外経験が活かされたもので、意義深く、視野の広がる内容であった。

3 今後の課題

SDGsの取り組みは、続けていくことが重要であると考えている。各企業で無理なく自然に続けられるSDGsの具体的な活動の提案・サポートについて引き続き検討したい。また、日本と海外のSDGsの取り組みの違いやコロナ禍におけるSDGs活動の変化について検討し、各企業の取り組みの参考になるものを提案していきたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年8月6日（金）13：00～14：00

場 所：ANAクラウンプラザホテル米子

内 容：今年度事業

参加者：会員4名

（2）例会等

■ 例会

日 時：令和3年10月6日（水）13：30～16：30

場 所：米子コンベンションセンター

内 容：ワークショップ

テーマ：「地域の未来 学ぶ・考える！カードゲーム『SDGs de 地方創生』」

ファシリテーター：ローカルエナジー(株)営業部 宇田川 玲子 氏

参加者：会員他20名、ローカルエナジー(株)2名、(株)BEAMS2名

■ 合同例会（共催：国際経済委員会）

日 時：令和3年11月26日（月）16：30～20：00

場 所：【講演会】皆生グラウンドホテル天水

【懇親会】華水亭

内 容：①講演会

演 題：「サステナブルな社会の実現に向けて～みんなのお金で未来をつくる～」

講 師：(公社)経済同友会 副代表幹事／

(株)大和証券グループ 取締役兼執行役副社長 田代 桂子 氏

②懇親会

参加者：【講演会】会員他37名

【懇親会】会員他15名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 地域交流特別委員会 委員長 板垣 慶太

2 活動方向と成果

当委員会は、地域を元気にする交流をテーマに掲げ、ビジネスを通じた他地域との交流により地域活性化に繋がる内容を企画した。

今年度の例会は、令和4年3月に完成した境港サインインコワーキングオフィスを会場とし、鳥取県が取り組むワークプレイス整備事業を理解すると共に、県外企業やフリーランスとの交流により、「当地に進出したい県外事業者のニーズ」や「経済活性化のために県外事業者を受け入れたい地元のウオンツ」を探り、相互理解を深めることを目的に開催した。講師からは、「コワーキングオフィスを活用した起業のアイデアや人材コミュニティ作り」、「ワーケーションを活用した関係人口創出」等についてご講演頂いた。成果として、地域を超えた新しい働き方について気付きを与えてもらい、県外事業者との提携によるビジネス拡大や人材マッチング等、今後の事業展開のアイデア創出に繋がったものと思う。

3 今後の課題

次年度の活動は、コロナ禍の制約も想定し、地域の活性化や会員企業の交流をテーマとした活動を企画する。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年12月21日（火）18：30～19：30
場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）
内 容：①今年度事業、②その他
参加者：会員5名

（2）例会等

■ 例会

日 時：令和4年3月15日（火）16：00～18：20
場 所：【リアル】サインインコワーキングオフィス
【オンライン】Zoom
内 容：①講演会
演 題：「鳥取県の企業誘致施策」
講 師：鳥取県商工労働部立地戦略課 県外企業誘致担当係長 水本 光 氏
②講演会
演 題：「地域を超えた働き方」
講 師：(株)オカムラ WORK MILL 編集長 山田 雄介 氏
(株)アドリブワークス 代表取締役 山岡 健人 氏
アドレック(株) 代表取締役 福島 大我 氏
③パネルディスカッション
テーマ：「地域発でどう事業を生み出していくか？」
これに伴う多拠点生活、副業などの新しい働き方
パネラー：(株)オカムラ WORK MILL 編集長 山田 雄介 氏
アドレック(株) 代表取締役 福島 大我 氏
鳥取県経済同友会西部地区 地域交流特別委員会 副委員長／
(株)アート建工 代表取締役 魚谷 宗司
コーディネーター：(株)アドリブワークス 代表取締役 山岡 健人 氏
参加者：【リアル】会員他10名
【オンライン】会員他14名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和3年度事業報告書

1 委員会名 ふるさと教育特別委員会 委員長 石村 隆男

2 活動方向と成果

「ふるさと教育」の重要性についての認識が広がる中、昨年度に発行した歴史読本『ROOTS 弓浜半島物語』についても多くの方々から関心を寄せて頂いた。昨年度は、鳥取県西部地区の小学6年生全員に配布し、また関心を寄せて頂いた市民にも配布した。本年度は5年間にわたって6年生全員に継続配布、更に圏域全中学校の図書室にもまとまった冊数を備えるということで、全体で1万3千冊を増刷し、1月には全町村の教育委員会に約1万2千部配布した。予備と一般配布分として約1千部は事務局で管理し、次年度以降のオープン例会等で活用していく。

今年度は、この読本をベースにしたオープン例会「弓浜半島千年の歴史フォーラム～米子の地域形成の歴史的転換点を探る～」を米子商工会議所、米子市文化振興課との共催で2月19日に計画していたが、新型コロナウイルスが急速に広がり、延期せざるを得なくなった。開催可能な時期が到来すれば、同内容で開催することを予定している。

3 今後の課題

読本は完成し、増刷もしたが、今年度はコロナ禍もあり、この本を活用しての研修会（シンポジウム等）が開催できなかった。今後は、読本をテキストベースにして、講演会やシンポジウム等を開催し、「ふるさと教育」を目に見えるカタチで実践していき、多くのメディアでも取り上げられるような展開をしていくことが課題となる。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 第1回正副委員長会議

日 時：令和3年8月26日（木）12：10～13：40

場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）

内 容：①今年度事業、②ふるさと教育読本『弓浜半島物語』増刷、③その他

参加者：会員4名

■ 第2回正副委員長会議

日 時：令和3年10月14日（木）12：00～13：30

場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）

内 容：①ふるさと教育読本『弓浜半島物語』増刷、②その他

参加者：会員4名

■ 委員会

日 時：令和3年11月17日（水）15：00～16：30

場 所：米子コンベンションセンター

内 容：①ふるさと教育読本『弓浜半島物語』内容説明と活用策、②その他

参加者：会員10名

（2）例会等

■ ふるさと教育読本『弓浜半島物語』贈呈式（大山町）

日 時：令和4年1月17日（月）16：00～16：30

場 所：大山町教育委員会

内 容：ふるさと教育読本『弓浜半島物語』の大山町への贈呈

参加者：会員2名、鷺見 寛幸 氏（大山町教育委員会教育長）

鳥取県経済同友会西部地区 令和3年度事業報告

〔 自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日 〕

I 諸会議

■ 定時総会

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 5.26	ANA クラウンプラザホテル米子	①令和2年度事業報告並びに収支決算承認 ②令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定 ③役員選任 ④記念講演会(オンライン) 演題:「持続可能な林業に向けて」 講師:(公社)経済同友会 副代表幹事/ 住友林業(株) 代表取締役会長 市川 晃 氏	総会 55名 講演 51名

■ 幹事会

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 5.26	ANA クラウンプラザホテル米子	①令和3年度定時総会上程案件 ②その他	32名

■ 監査会

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 4.22	米子商工会議所	①令和2年度事業報告並びに収支決算報告 ②令和2年度会計監査	4名

■ 懇談会

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R3. 10.15	第118回西日本経済同友会会員合同懇談会	オンライン	テーマ:「文化と創業のまち京都で、いま教育を考える」 ①オープニング 華道家元池坊 次期家元 池坊 専好 氏他 ②基調講演 演題:「大学改革で目指す人材育成」 講師:日本電産(株)創業者・代表取締役会長/ 京都先端科学大学等を運営する(学)永守学園 理事長 永守 重信 氏 ③パネルディスカッション パネリスト: 総合地球環境学研究所 所長/ 京都大学 前総長 山極 壽一 氏 京都市立芸術大学 学長 赤松 玉女 氏 (一社)京都経済同友会 特別幹事/ (株)堀場製作所 代表取締役会長 堀場 厚 氏 ファシリテーター: (一社)京都経済同友会 代表幹事/ 村田機械(株) 代表取締役社長 村田 大介 氏 ④次回開催地挨拶 山口経済同友会 代表幹事 神田 一成 氏	8名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R3. 11. 10	第 28 回鳥取県・岡山 経済同友会合同懇談会	「風の葉」、勝山 文化センター	①視察 (GREENable HIRUZEN「風の葉」) ②講演会 (勝山文化センター) 演題：「木の街 真庭市の SDGs 達成に向けた取組」 講師：真庭市林業バイオマス産業課 参事 杉本 氏 演題：「銘建工業の SDGs の取り組み」 講師：銘建工業(株) 代表取締役 中島 浩一郎 氏 ③懇談会 (勝山文化センター) ④懇親会 (勝山文化センター)	51 名 (うち 東部 14 名、 中部 5 名、 西部 9 名)
R4. 3. 30	第 48 回鳥取県・島根 経済同友会合同懇談会	ホテル一畑	①講演会 演題：「アフターコロナの観光～DMO の視点から～」 講師：(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井 善朗 氏 ②パネルディスカッション パネラー：(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井 善朗 氏 (一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局 代表理事 矢野 正紀 氏 (大)島根大学法文学部 教授 飯野 公央 氏 (有)出雲観光タクシー 代表取締役 渡部 稔 氏 (株)バイタルリード 代表取締役 森山 昌幸 氏 コーディネーター： (株)日本政策投資銀行 松江事務所長 加藤 隆宏 氏	73 名 (うち 島根 43 名、 東部 12 名、 中部 1 名、 西部 17 名)

■ 例会

期 日	場 所	内 容	出席者
R3.10. 6	米子コンベンションセンター	担当：SDGs 推進特別委員会 ①ワークショップ テーマ：「地域の未来 学ぶ・考える！カードゲーム『SDGs de 地方創生』」 ファシリテーター：ローカルエナジー(株)営業部 宇田川 玲子 氏 補助：ローカルエナジー(株) 課長補佐 渡辺 綾子 氏・営業部 飯島 基弘 氏 (株)BEANS 専務取締役 遠藤 尚子 氏・村田 佳代子 氏	20名
<p>カードゲーム「SDGs de 地方創生」を通じて、SDGs とは何かを知ると共に、自らの行動が地域にどのような影響を与えるのかをシミュレーションし、地域のためにより良い取り組みを学び、自らが具体的な一歩を踏み出す動機やきっかけ作りとするための例会を開催した。</p> <p>宇田川氏からはカードゲームの進行のみならず、SDGs の考え方を理解し、対話と協働を通じた地方創生の実現という SDGs の本質についても解説頂いた。</p> <p>参加者からは「自分の目標のみに囚われがちだが、直接的には自分に関係のないと思われる目標を達成していくことで、地域全体の目標達成、ひいては自らの目標達成にも繋がることを実感した」、「自分の目標と周囲の目標が違っていても、SDGs という最終的な目標が共通であることを認識して協力することで成果を得られると感じた」という感想が聞かれた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R3.10.25	ANA クラウンプラザホテル米子	担当：国際経済委員会 ①講演会 演題：「シリコンバレーで未来のライフスタイルを創造する～グローバルなスタートアップの起業ストーリー～」 講師：HOMMA, Inc. Founder&CEO 本間 毅 氏 ②トークセッション	40名
<p>地元経済のグローバル化を推進すると共に、諸外国との繋がりの中で、地域経済を更に発展させるための考察を行うことを目的とした講演会を企画した。</p> <p>本間氏は日本とアメリカの起業の違いを分析し、「世界を変えたい、良くしたいという起業家の想いを汲んで、アメリカには出る杭を伸ばすという風土がある。起業に失敗した場合でも、起業に対する経験値は高く評価されるので、シリコンバレーで特に世の中を変えるような起業家が生まれるのではないかと話された。</p> <p>この度は、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、東・中・西各地区からのオンライン参加も可能とした。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R3.11.26	皆生グランドホテル天水・華水亭	担当：国際経済委員会・SDGs 推進特別委員会 ①講演会 演題：「サステナブルな社会の実現に向けて～みんなのお金で未来をつくる～」 講師：(公社)経済同友会 副代表幹事/ (株)大和証券グループ 取締役兼執行役副社長 田代 桂子 氏 ②懇親会	37名
<p>大手証券会社の国際経済の展望や SDGs の取り組みについて学ぶため、2 委員会の合同で例会を開催した。</p> <p>田代氏は経営戦略としての SDGs、事業戦略としての SDGs、女性活躍の推進の 3 点について講演された。「デジタル活用や企業のデジタルトランスフォーメーション (DX)、ビッグデータの分析などが世界と競争していく上での課題である」と指摘され、女性管理職の成り手不足については、「大学までには男女のレベルには差がないが、会社就職後に差が出る。その差は企業側が付けているので、企業が解決できる課題。企業がサポートする姿勢を見せ、積極的に女性を意思決定の場に登用していくべき」と話された。</p> <p>例会後には、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて、懇親会を開催した。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 12. 10	米子商工会議 所	担当：教育委員会 経済界と西部地区高等学校・特別支援学校教員等による交流会 ①意見交換（ワークショップ） テーマ：「若者の人口流出について～今どきの進路指導等の実態と期待～」 「今後の連携について～『してもらいたいこと』と『できること』～」	13名
<p>将来の鳥取県を担う人材育成を目指し、ふるさと教育を推進するため、西部地区高等学校・特別支援学校教員等と交流会を開催した。</p> <p>意見交換では、高等学校段階で目標とされている「ふるさとに誇りを持ち、地域に貢献しようとする心を養うと共に、社会における自らの役割や将来の生き方を確立する」ため、経済界と教員が連携して取り組むことの重要性を改めて認識した。</p> <p>参加者からは、「高等学校時代に大人と対話する機会が多いほど、自己肯定感の向上や離職率の低下に繋がると感じる」、「地元企業に就職している卒業生を学校に派遣して頂き、生徒と対話する場を設けてほしい」といった意見・要望が寄せられた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 2. 25	米子松蔭高等 学校	担当：教育委員会 ①面談 米子松蔭高等学校 校長 長崎 成輝 氏と当会会員 ②代表幹事挨拶 テーマ：「社会人入社5年目までに必要なことは、みんな学校で教わった」 話者：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史 ③講演会（進学者対象） 演題：「人生の岐路に立つ皆さんへ」 講師：鳥取県経済同友会西部地区 副代表幹事／ (株)細田商店 代表取締役 細田 耕治 講演会（就職者対象） 演題：「社会人として求められる能力とは」 講師：鳥取県経済同友会西部地区 常任幹事／ 中国電力ネットワーク(株)米子ネットワークセンター 所長 森脇 照夫	約 200 名 (会員 他 11 名)
<p>将来にわたる地域の発展のため、かねてより教育問題を重要事項として事業に取り組んでおり、この度は米子松蔭高等学校教員・生徒を対象とした講演会を開催した。</p> <p>松村代表幹事からは、昨年度に引き続き、社会に出るにあたって必要となる基本的なことを高校生活の中で学んでほしいというメッセージが伝えられた。</p> <p>進学者を対象とした講演会では、細田副代表幹事が、進路選択の過程で「自分の進路を自分で決めていない」というアンケート結果を引用し、進路を決める上で最も大切なことは「自分の進路を自分で決めること」であること等が伝えられた。</p> <p>就職者を対象とした講演会では、森脇常任幹事が、就職して社会人となる喜びの1つに「地域貢献することで社会に役立つことができる」という点を挙げ、自社の取り組みを交えながら、社会人に求められる能力について説明を行った。</p> <p>この度は、対象者を分けることで、進学者、就職者それぞれにより効果的にメッセージが伝えることができた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 3. 3	ANA クラウンブ ラザホテル米 子	担当：観光戦略委員会 ①報告会 テーマ：「山陰地方におけるインバウンド観光復興に向けたご提案 ～海外の若者と日本人の若者の視点から～」 報告者：関西学院大学国際学部 渥美 裕之ゼミ 5 期生	31 名
<p>平成 29 年度より、当会と渥美ゼミの共同で取り組んできた「山陰地方におけるインバウンド観光」に関する集大成となる報告会を開催した。</p> <p>渥美ゼミからは、「若者」・「よそ者」の視点に加え、「海外」の若者へのアンケート結果を踏まえた提案を頂いた。海外の若者の視点から、他地域と差別化した仕掛けによる認知度と魅力度の双方を引き上げる戦略等を、日本人の若者の視点から、Instagram や Youtube を活用した「広告のデジタル化」やグランピングやテントサウナと言った「観光資源の有効活用」等をそれぞれ提案頂いた。</p> <p>令和 4 年度からは、これまでの取り組みを提言書として取りまとめ、鳥取県や米子市へ提出することとしている。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 3. 15	サインインコ ワーキングオ フィス	担当：地域交流特別委員会 ①講演会 演題：「鳥取県の企業誘致施策」 講師：鳥取県商工労働部立地戦略課 県外企業誘致担当係長 水本 光 氏 ②講演会 演題：「地域を超えた働き方」 講師：(株)オカムラ WORK MILL 編集長 山田 雄介 氏 (株)アドリブワークス 代表取締役 山岡 健人 氏 アドレック(株) 代表取締役 福島 大我 氏 ③パネルディスカッション テーマ：「地域発でどう事業を生み出していくか？」 これに伴う多拠点生活、副業などの新しい働き方 パネラー：(株)オカムラ WORK MILL 編集長 山田 雄介 氏 アドレック(株) 代表取締役 福島 大我 氏 鳥取県経済同友会西部地区 地域交流特別委員会 副委員長／ (株)アート建工 代表取締役 魚谷 宗司 コーディネーター：(株)アドリブワークス 代表取締役 山岡 健人 氏	24 名
<p>当会会員である(株)アート建工の境港ワーキングオフィス「サインインワーキングオフィス」にて、鳥取県や地域外企業を招き、コロナ禍におけるワーケーションや副業等の可能性を考えるための例会を開催した。この度は、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、オンライン参加も可能とした。</p> <p>水本氏はコロナ禍で企業の地方への分散や機能移転が進んでいると話され、これに伴って創設された各種補助金を紹介された。</p> <p>講演会では、「地域を超えた働き方」をテーマに、山田氏、山岡氏、福島氏からワーキングオフィスの活用方法等を学んだ。</p> <p>パネルディスカッションでは、山田氏、福島氏、魚谷氏（当会副委員長）がパネラー、山岡氏がコーディネーターを務め、当地における新しい働き方の展望について、サインインワーキングオフィスの活用可能性等の観点から議論を深めた。</p>			

■ 総務委員会

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 4. 27	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入脱会・交替 ④その他（令和3年度定時総会資料他）	24名
R3. 5. 26	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の脱会・交替 ④その他（令和3～4年度役員選任案他）	22名
R3. 6. 29	スマイルホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③参与・会員の脱会・交替 ④その他（副委員長の決定他）	22名
R3. 7. 28	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の交替・異動 ④その他（令和3～4年度委員会・特別委員会の配属決定他）	21名
R3. 9. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の脱会・交替 ④その他（米子市中小企業者等振興アクションプランの策定他）	24名
R3. 10. 22	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入退会 ④その他（海と天地のめぐみ米他）	24名
R3. 12. 6	皆生グランドホテル天水	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③その他（各委員会の事業進捗状況・実施予定）	23名
R4. 2. 7 ～9	電磁的開催（イーデスク）	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入脱会・交替 ④その他（会費納入に係る振込手数料の負担）	30名
R4. 3. 3	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の所属変更・交替 ④その他（令和4年度定時総会他）	21名

■ 総務委員会正副委員長会議（正副代表幹事・正副総務委員長）

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 4. 23	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R3. 5. 26	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R3. 6. 29	スマイルホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R3. 7. 28	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R3. 9. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R3. 10. 22	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R3. 12. 6	皆生グランドホテル天水	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R4. 2. 4 ～6	電磁的開催（イーデスク）	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R4. 3. 3	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	8名

■ 委員会・特別委員会等

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R3. 6. 17	正副代表幹事・委員長会議	ANA クラウンプラザホテル 米子	①各委員会の方針 ②副委員長の人事 ③その他	19名
R3. 6. 21	関西学院大学渥美ゼミ との意見交換会 (観光戦略委員会)	オンライン	当地に関する意見交換	6名
R3. 7. 15	正副委員長会議 (教育委員会)	雲海	①高等学校との交流 ②教員と経済界との交流 ③鳥取環境大学との交流 ④その他	5名
R3. 7. 29	第2回正副委員長会議 (教育委員会)	公立鳥取環境大学西部サテ ライトキャンパス	①教員と経済界との交流 ②その他	5名
R3. 8. 5	正副委員長会議 (鳥取県成長戦略検討委員会)	まちぞら	①鳥取県西部総合事務所 との意見交換会 ②今年度事業	5名
R3. 8. 6	正副委員長会議 (SDGs 推進特別委員会)	ANA クラウンプラザホテル 米子	今年度事業	4名
R3. 8. 25	関西学院大学渥美ゼミ との意見交換会 (観光戦略委員会)	ANA クラウンプラザホテル 米子	①当地訪問 ②その他	2名
R3. 8. 26	正副委員長会議 (ふるさと教育特別委員会)	雲海	①今年度事業 ②『弓浜半島物語』増刷 ③その他	4名
R3. 9. 10	第3回正副委員長会議 (教育委員会)	公立鳥取環境大学西部サテ ライトキャンパス	①鳥取環境大学との交流 ②その他	5名
R3. 9. 10	正副委員長会議 (国際経済委員会)	和食 garden 琥珀月	①例会 ②その他	6名
R3. 9. 10	正副委員長会議 (大山圏域活性化特別委員会)	雲海	①今年度事業 ②その他	5名
R3. 10. 6	正副委員長会議 (観光戦略委員会)	オンライン	①経過報告 ②その他	5名
R3. 10. 14	第2回正副委員長会議 (ふるさと教育特別委員会)	雲海	①『弓浜半島物語』増刷 ②その他	4名
R3. 10. 18	正副委員長会議 (境港活性化特別委員会)	雲海	①今年度事業 ②その他	4名
R3. 11. 5	関西学院大学渥美ゼミ を囲む夕食会 (観光戦略委員会)	皆生菊乃家	①今年度事業 ②その他	7名
R3. 11. 17	委員会 (ふるさと教育特別委員会)	米子コンベンションセンタ ー	①『弓浜半島物語』 ②その他	10名
R3. 11. 19	第1回島根・鳥取合同委員会 (鳥取島根合同委員会)	サンラポーむらくも	①今年度事業 ②第28回鳥取県・島根経 済同友会合同懇談会 ③その他	5名
R3. 12. 8	第2回正副委員長会議 (大山圏域活性化特別委員会)	雲海	①例会 ②その他	5名
R3. 12. 21	正副委員長会議 (地域交流特別委員会)	雲海	①今年度事業 ②その他	5名
R4. 1. 11	第3回正副委員長会議 (大山圏域活性化特別委員会)	雲海	①例会 ②その他	5名

■ 視察会・研修会等

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R3. 8. 30	新入・交替会員研修会 (総務委員会)	ANA クラウンプラザホテル 米子	①新入・交替会員研修会 ②懇親会	28 名
R3. 10. 8	鳥取県西部総合事務所 との意見交換会 (鳥取県成長戦略検討委員会)	鳥取県西部総合事務所	意見交換会	9 名
R4. 1. 17	ふるさと教育読本贈呈式 (ふるさと教育特別委員会)	大山町教育委員会	大山町への 『弓浜半島物語』贈呈	2 名

■ その他会議等（協賛・後援含む）

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R3. 3. 31 ～ 4. 15	国際定期便利用促進協議会総会	書面	①規約改正 ②令和 3 年度事業計画・収支予算	-
R3. 4. 8	第 33 回全国経済同友会 セミナー（デジタル大会）	オンライン	基調講演 講師：華厳宗管長・第 223 世東大寺別当 狭川 普文 氏	12 名
R3. 4. 27	(公社)経済同友会通常総会	オンライン	①令和 2 年度事業報告・収支決算報告 ②令和 3 年度役員等選任 ③令和 3 年度事業計画(案)・収支予算(案) ④代表幹事所見	松村 代表幹事
R3. 4. 28 ～ 5. 12	中国横断新幹線（伯備新幹線） 整備推進会議総会	書面	①役員改選(案) ②令和 2 年度事業報告・収支決算 ③令和 3 年度事業計画(案)・収支予算(案)	-
R3. 5. 19	中国横断新幹線（伯備新幹線） 整備推進会議新幹線に関する WEB 研修会	オンライン	講演 演題：「新幹線整備の現状と今後の取組について」 講師：国土交通省鉄道局 幹線鉄道課長 足立 基成 氏	6 名
R3. 6. 1 ～ 6. 15	名物料理を作る会通常会員総会	書面	①令和 2 年度事業報告・収支決算報告 ②令和 3 年度事業計画(案)・収支予算(案)	-
R3. 6. 7	第 1 回米子市中小企業者等 振興行動計画検討委員会	米子市役所	①委員長の決定 ②米子市中小企業者等振興行動計画の検討 ③その他	宮永 副代表幹事
R3. 6. 9 ～6. 15	国際定期便利用促進協議会総会	書面	①令和 2 年度事業報告・収支決算 ②規約改正 ③会計処理規程・事務処理規程の制定	-
R3. 6. 11	鳥取県経済同友会 幹事会・定時総会	ホテルニュー オータニ鳥取	①令和 2 年度事業報告・収支決算報告 ②令和 3 年度事業計画(案)・収支予算(案) ③役員改選 ④ゲスト講演 テーマ：「今、地域に求められるデジタル トランスフォーメーションとは」 講師：㈱チェンジ 代表取締役兼執行 役員社長 福留 大士 氏	47 名
R3. 7. 6	第 7 回西日本経済同友会 代表者会議	オンライン	①代表者会議 ・各地域事例の発表 テーマ：ツーリズム復活に向けた戦略再構 築のあり方 発表者：九州経済同友会、和歌山経済同友会、 鳥取県経済同友会（松村代表幹事） ・自由討議 ②オンライン懇親会	松村 代表幹事

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R3. 7. 7	大山・日野川・中海学協会 臨時総会（解散総会）	米子商工会議 所	①経緯説明 ②令和3年度役員を選任 ③令和2年度事業報告・収支決算報告承認 ④監査報告 ⑤大山・日野川・中海学協会の解散 ⑥大山・日野川・中海学協会の財産処分 ⑦その他	委任状
R3. 7. 7 ～ 7. 20	米子空港利用促進懇話会総会	書面	①令和2年度事業報告・収支決算報告 ②役員改選 ③令和3年度負担金 ④令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)	-
R3. 7. 16	第2回米子市中小企業者等 振興行動計画検討委員会	米子市役所	①米子市中小企業者等振興行動計画の検討 ②その他	宮永 副代表幹事
R3. 8. 17	鳥取県経済同友会 正副代表幹事会・事務局会議	オンライン	第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット実施判断	4名
R3. 8. 26	山陰における新幹線整備促進 に向けた勉強会	オンライン	①講演 演題：「新幹線整備の現状と今後の取り組みについて」 講師：国土交通省鉄道局 幹線鉄道課長 川島 雄一郎 氏 演題：「山陰・伯備新幹線を22世紀でなく2030年代中に - 大阪～鳥取 1時間半、米子 2時間 - 」 講師：(株)ライトレール 代表取締役社長 阿部 等 氏 ②その他	6名
R3. 9. 1	(学)柳心学園産業免許スクール オープニングセレモニー	柳心学園産業 免許スクール	オープニングセレモニー	加藤 副代表幹事
R3. 10. 1	第1回サイクリングルート 整備検討会	オンライン	①県全体のサイクリングルートの整備状況 ②大山周遊ルート(仮) ③意見交換	3名
R3. 10. 11 ～25	全国経済同友会 代表幹事円卓会議	書面	①第33回全国経済同友会セミナー収支決算案 ②第34回全国経済同友会セミナー企画案(神戸) ③第40回全国経済同友会セミナー開催地(滋賀)	-
R3. 10. 12	食の多様化対応・ジゲ食材活用 プロジェクト説明会	オンライン	①10分で分かるウィズコロナのインバウンド観光 需要 ②食の多様化対応・ジゲ食材活用プロジェクト ③ウェルカニキャンペーン内での期間限定「ベジカニ」フェア	事務局
R3. 10. 14	鳥取県金融経済懇談会	オンライン	①基調説明 日本銀行 審議委員 野口 旭 氏 ②意見交換	松村 代表幹事
R3. 11. 3	第3回白砂青松の弓ヶ浜 サイクリングコース美化活動	弓ヶ浜公園～ サニーテニス 付近	サイクリングコース美化活動	8名
R3. 11. 4	上定市長を囲む懇談会	食留芽	今後の連携に関する懇談会	8名
R3. 11. 5	名物料理を作る会 2021 蟹取県 「ウェルカニ料理コンテスト」	皆生グランド ホテル天水	料理コンテスト	宮永 副代表幹事
R4. 1. 18	米子中金会・米子中金ユース会・ 鳥取県中小企業団体中央会 西部支部新春講演会	皆生グランド ホテル天水	講演 演題：「失敗を成功に導く心の持ち方」 講師：バドミントン 北京オリンピック 日本代表 小椋 久美子 氏	19名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 2. 9	米子商工会議所流通部会 ICT 活用セミナー	オンライン	講演 演題：「お客様指向のお店作り～省コスト&ICT で魅力的なお店作りを～」 講師：(公財)日本電信電話ユーザ協会 西日本 ICT 推進部長 佐々木 一敏 氏	6名
R4. 2. 21	中国 5 県経済同友会代表幹事と (公社)経済同友会幹部との 意見交換会		中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	
R4. 3. 2	鳥取県経済同友会 正副代表幹事会・事務局会議	オンライン	①令和 4 年度定時総会等 ②第 13 回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミ ット ③令和 4 年度負担金 ④木材利用推進全国会議「自主宣言」策定	6名